

2018年4月4日

報道関係者各位

高田製薬株式会社

抗精神病薬・双極性障害治療薬・制吐剤

オランザピン OD錠 2.5mg/5mg/10mg 「タカタ」

オランザピン細粒 1% 「タカタ」

効能・効果 および 用法・用量の追加承認を取得

高田製薬株式会社（本社：埼玉県さいたま市南区、代表取締役社長：高田浩樹）は、4月4日（水）、オランザピン OD錠 2.5mg/5mg/10mg 「タカタ」、オランザピン細粒 1% 「タカタ」につきまして、下記「効能・効果」および「用法・用量」の追加承認を取得しましたことをお知らせいたします。

この承認により、先発医薬品との適応不一致は解消され、先発品と同様に処方していただけます。

当社は、患者さんや医療関係者の皆さんの声に耳を傾け、ニーズに合った医薬品を提供することにより、医療に貢献してまいります。

記

| | |
|-------|--|
| 製品名 | オランザピンOD錠 2.5mg/5mg/10mg 「タカタ」 オランザピン細粒 1% 「タカタ」 |
| 効能・効果 | 統合失調症 双極性障害における躁症状及びうつ症状の改善 <u>抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）</u> |
| 用法・用量 | 統合失調症：通常、成人にはオランザピンとして 5～10mg を 1 日 1 回経口投与により開始する。維持量として 1 日 1 回 10mg 経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1 日量は 20mg を超えないこと。 双極性障害における躁症状の改善：通常、成人にはオランザピンとして 10mg を 1 日 1 回経口投与により開始する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1 日量は 20mg を超えないこと。 双極性障害におけるうつ症状の改善：通常、成人にはオランザピンとして 5mg を 1 日 1 回経口投与により開始し、その後 1 日 1 回 10mg に増量する。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、1 日量は 20mg を超えないこと。 <u>抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）：他の制吐剤との併用において、通常、成人にはオランザピンとして 5mg を 1 日 1 回経口投与する。</u> <u>なお、患者の状態により適宜増量するが、1 日量は 10mg を超えないこと。</u> |

※下線部分を追加

以上

【お問い合わせ先】

高田製薬株式会社 経営企画部 広報課

TEL:048-816-4166 / FAX:048-816-4192

E-mail:koho@takata-seiyaku.co.jp